

## 取扱いの趣旨

扁桃炎は細菌やウイルス感染により扁桃に炎症が起きる上気道疾患であり、効能・効果に該当しない扁桃炎に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年6月28日》

193 扁桃炎に対する去痰剤の算定について

### ○ 取扱い

扁桃炎に対する、効能・効果に上気道炎のない去痰剤【内服薬】（アムブロキシソール塩酸塩、ブロムヘキシン塩酸塩等）の算定は、原則として認められない。

### ○ 取扱いを作成した根拠等

去痰剤【内服薬】の一つであるアムブロキシソール塩酸塩の添付文書の効能・効果は「急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難、慢性副鼻腔炎の排膿（去痰）」である。

扁桃炎は細菌やウイルス感染により扁桃に炎症が起きる上気道疾患であり、上記効能・効果に記載されていない。

以上のことから、扁桃炎に対する、効能・効果に上気道炎のない去痰剤【内服薬】（アムブロキシソール塩酸塩、ブロムヘキシン塩酸塩等）の算定は、原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、  
査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 32.95%
- 検証対象都道府県 36

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	島根、滋賀、新潟、和歌山、兵庫、奈良、宮城、埼玉、山口、宮崎、京都、大阪、神奈川、栃木、千葉、北海道	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	新潟、滋賀、和歌山、兵庫、埼玉、奈良、宮城、山梨、大阪、神奈川、高知、山口、東京、大分、徳島、北海道	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	宮崎、千葉、山口、宮城、京都、兵庫、大分、徳島、岡山、東京、石川、新潟、大阪、長崎、埼玉、福井	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	3,065件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,010件
検証を必要とする審査	請求どおり	2,055件

